

令和元年度 第1回下野市歴史的風致維持向上協議会 議事録

- 1 開催日時 令和元年10月31日(木)午後2時00分～午後3時00分
- 2 開催場所 下野市役所3階 304会議室
- 3 定数 16名
- 4 出席の委員 11名
苅谷勇雅、熊倉雄一、滝澤芳夫、荒川省二、川嶋恵美子
小嶋敬、中村恭子、石川明範、坪山 仁、瀧澤卓倫、
高楯 裕 (代理 計画管理課 計画・景観係長 田上敦司)
- 5 欠席の委員 5名
阪田和哉、小林利孝、長田哲平、長 勲、分田久貴
- 6 事務局 都市計画課 課長 伊澤仁一、主幹 小野田輝久、副主幹 飯野博之
文化財課 課長 山口耕一、副主幹 橋本高志、主査 諏訪晶子
- 7 会議の進行 都市計画課長 (伊澤仁一)
- 8 議題の説明 事務局 (小野田輝久、橋本高志)
- 9 会議の記録 事務局 (飯野博之)
- 10 議 事
報告事項
(1) 下野市歴史的風致維持向上計画について
(2) 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事業について
- 11 会議の経過
都市計画課長 (伊澤仁一) 開 会
広瀬市長 あいさつ
市長より委員 (代表 苅谷委員) に委嘱状を交付
委員自己紹介、事務局職員自己紹介

都市計画課長 (伊澤仁一)

それでは次に会長及び副会長の選任を行いたいと思います。

会長及び副会長の選出につきましては、下野市歴史的風致維持向上協議会設置要綱 第5条第1項の規定によりまして、委員の互選ということになっております。選出にあたりましては、暫時、市長に議長をお願いし、進めてまいります。

市長、よろしく願いいたします。

市 長 (広瀬寿雄)

それでは、議長を務めさせていただきます。

選出方法を皆さんにお諮りいたしますが、いかがすればよろしいですか。

委 員 (滝澤芳夫)

事務局案があれば、よろしく願いします

市 長（広瀬寿雄）

ただいま、事務局案があればというご発言がありました。よろしいですか。

異議なしの声

市 長（広瀬寿雄）

それでは、事務局案を発表願います。

事務局（小野田輝久）

事務局案として、会長に苅谷勇雅委員、副会長熊倉雄一委員を提案させていただきます。

市 長（広瀬寿雄）

ただいま、事務局案が示されましたが、異議ありますか。

異議なしの声

市 長（広瀬寿雄）

異議なしと認め、会長に苅谷勇雅委員、副会長に熊倉雄一委員が決定されました。

都市計画課長（伊澤仁一）

ありがとうございました。

市長におかれましては、公務がございますのでここで退席させていただきます。

（広瀬市長、退席）

それでは、苅谷会長には席のご移動をお願いいたします。

ここで、会長となられました苅谷勇雅様にご挨拶をお願いしたいと思います。

会 長（苅谷勇雅）

あいさつ

都市計画課長（伊澤仁一）

ありがとうございました。

それでは早速、会議に入らせていただきたいと思います。

会議に入ります前に、改めまして本日配布させていただきました資料の確認をさせていただきます。

- ・会議次第、裏面が名簿
- ・資料1 歴史的風致維持向上計画（概要版）
- ・資料2 計画に位置付けられております20事業の概要
- ・資料3 事業の実施計画
- ・本協議会設置要綱 の5点となります。過不足はございますか。

それでは、本会議の成立につきまして、ご報告させていただきます。

下野市歴史的風致維持向上協議会設置要綱第6条第2項の規定によりまして、委員の過半数が出席しなければ開くことができないと規定されております。

本日の出席委員の数は11名でございますので、会議の成立要件を満たしていることを報告させていただきます。

それでは、今後の議事進行につきましては、同要綱第6条第1項の規定に基づきまして、苅谷会長をお願いしたいと思います。

会 長（荻谷勇雅）

それでは最初に議事録の署名について 名簿の 6 番 滝澤芳夫委員と 7 番 荒川省二委員にお願いしたいと思います。

それでは、報告事項（1）下野市歴史的風致維持向上計画について、事務局より説明をお願いします。

事 務 局（小野田輝久）

下野市歴史的風致維持向上計画について、事務局より説明

会 長（荻谷勇雅）

ただいま、事務局より説明いただきましたが、ご質問等はございますか。

質問なし。

会 長（荻谷勇雅）

続いて、（2）歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事業について事務局より説明願います。

事 務 局（橋本隆志）

資料 2、3 により、文化財課所管の事業について説明。

事 務 局（小野田輝久）

資料 2、3 により文化財課所管以外の事業について説明。

会 長（荻谷勇雅）

ただいま、事務局より説明いただきましたが、ご質問等はございますか。

委 員（熊倉雄一）

資料 2 の 2 2 5 ページ 天平の丘公園整備事業が市単独事業になっています。

計画策定の際は市単独事業であっても、現時点では資料 3 の 1 6 ページのとおり社会整備総合交付金及び都市再生整備総合交付金事業を導入しているのであれば、資料 2 の 2 2 5 ページを直してください。

事 務 局（小野田輝久）

資料 2 は歴史的風致維持計画書の一部抜粋であり、計画内容の変更については、今後、検討してまいります。

会 長（荻谷勇雅）

全体的に市の単独事業と書いてある箇所が多いですが、国庫補助事業を活用することは計画していますか。

事 務 局（小野田輝久）

今後、活用できる補助事業があれば積極的に活用してまいります。

会 長（荻谷勇雅）

資料 2 の 2 1 5 ページ 下野国分尼寺跡の保存整備事業はすでに進行中ですが、整備事業全体の現状変更申請を行っているのですか。

事 務 局（橋本隆志）

年度ごとの申請となります。

会 長（荻谷勇雅）

2019年度は一部の現状変更許可申請を行うのですか。

事務局（橋本隆志）

その通りです。

会 長（荻谷勇雅）

現状変更については、来年度が事業の最終年度であり、国の審議会の回数にも制限があるので、タイミングをうまく合わせてください。

会 長（荻谷勇雅）

次に資料2の216ページ 文化財保存活用計画の素案について、他市町はコンサルに委託しているようですが、どのように進める予定ですか。

事務局（橋本隆志）

既に基本構想がありますので、それを基に職員が中心に作成する予定です。

会 長（荻谷勇雅）

歴史的風致形成建造物について、今のところ候補は多くない状態ですが、積極的に所有者に説明し、理解を得たうえで指定しておく災害時などのいざというときに役に立つと思います。

文化財課長（山口耕一）

その件に関しましては旧茨城県真壁町（現 桜川市）がそれで随分助けていただいたと聞いていますので、その辺、私どもも早くできるよう進めていきたいと考えています。

会 長（荻谷勇雅）

東日本大震災では、茨城県真壁町においては大変な数の文化財、歴史的風致形成建造物が被害を受けたと聞いています。旧真壁町には登録有形文化財が100以上あり、その周りにも歴史的風致形成建造物が多数ありますが、補助率97.5%もの高額な支援を受けた建物もあります。復旧復元には随分お金がかかります。1億円かかっても250万の個人負担で済む場合もあるため、これを受けられることができるようになれば、早く復興ができると思います。

歴まち計画については、まさに、下野市の歴史的風致を維持向上してくれるわけであり、できるだけ早く進めてほしいので、所有者なり関係者に理解を求めていくことが大切です。

積極的に進めてください。

事務局（橋本隆志）

歴史的風致形成建造物の指定については、今後、調査のうえ指定していきます。

会 長（荻谷勇雅）

今後、本協議会で各事業の現地確認調査の実施予定はございますか。

都市計画課長（伊澤仁一）

年度末に各20事業について、本協議会にて進捗確認をしていただくこととなります。

その際は、各事業の担当者から事業進捗について説明を行い、必要があれば現地調査もいたしますので、よろしくお願ひします。

会 長（荻谷勇雅）

国土交通省の中部地方整備局には歴まちサミットという会議があり、その際は、関係する市町村の首長または教育長の殆どは出席し、2日間議論するシンポジウムを行っているため、各首長さんは他市町村の現状も良く把握していると思います。

そのような機会を関東地区でも設けることができると良いと思いますので、関東地方整備局に対して各市町村が働きかけを行い、実現できることを希望します。これは要望です。

他にご質問等はございますか。

質問等なし。

会 長（荻谷勇雅）

続いて、次第6 その他について、事務局から何かありますか。

事 務 局（小野田輝久）

今後の協議会予定（年度末に開催予定）について説明

会 長（荻谷勇雅）

ただいまの事務局の説明について、質問等はございますか。

質問等なし。

会 長（荻谷勇雅）

質問等が無いようですので、本日予定された審議内容は全て終了いたしました。

以後の進行は事務局にお返しします。

都市計画課長（伊澤仁一）

以上をもちまして、令和元年度第1回下野市歴史的風致維持向上協議会を閉会させていただきます。

ありがとうございました。